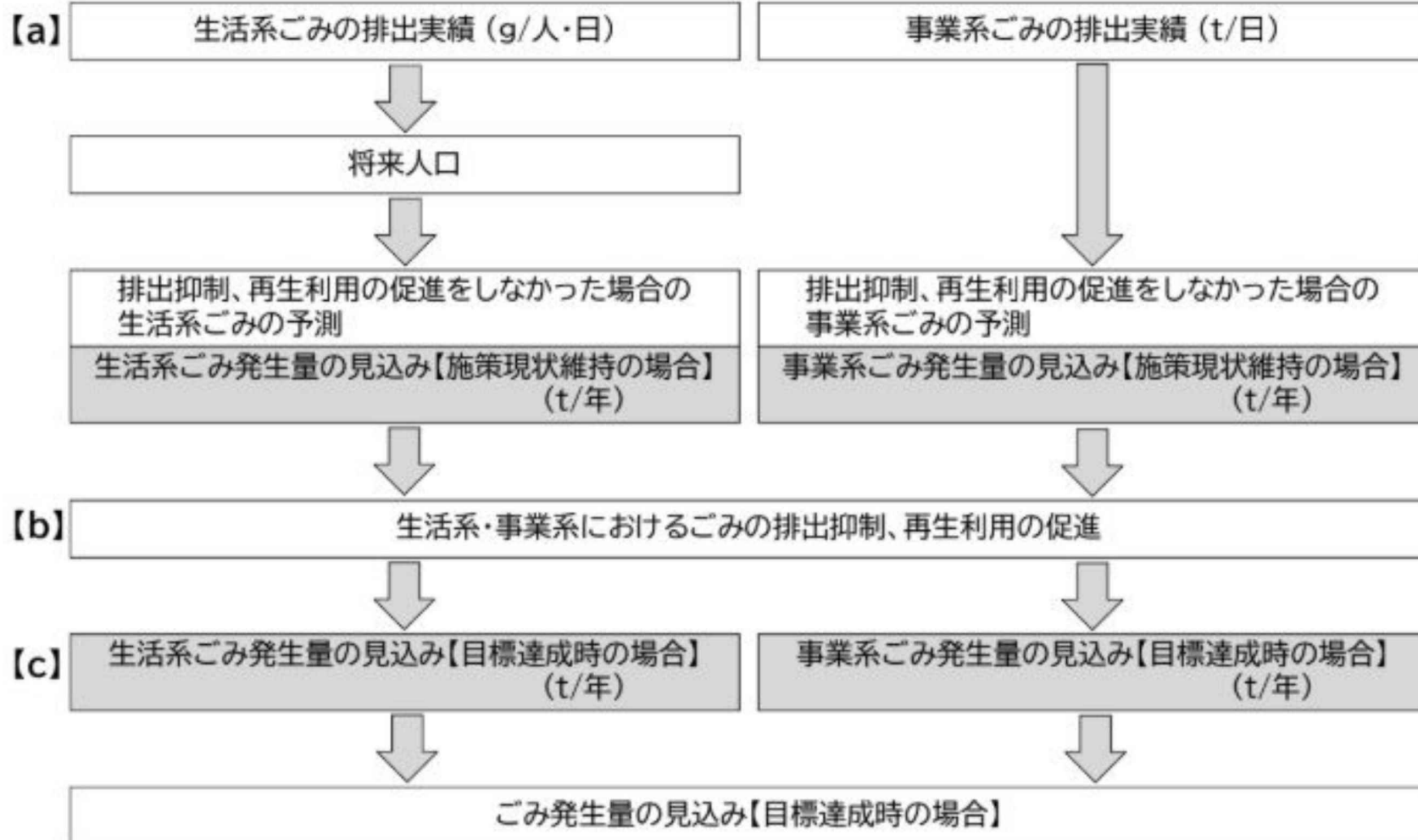


ごみ排出量の推計手順



目標値の設定について

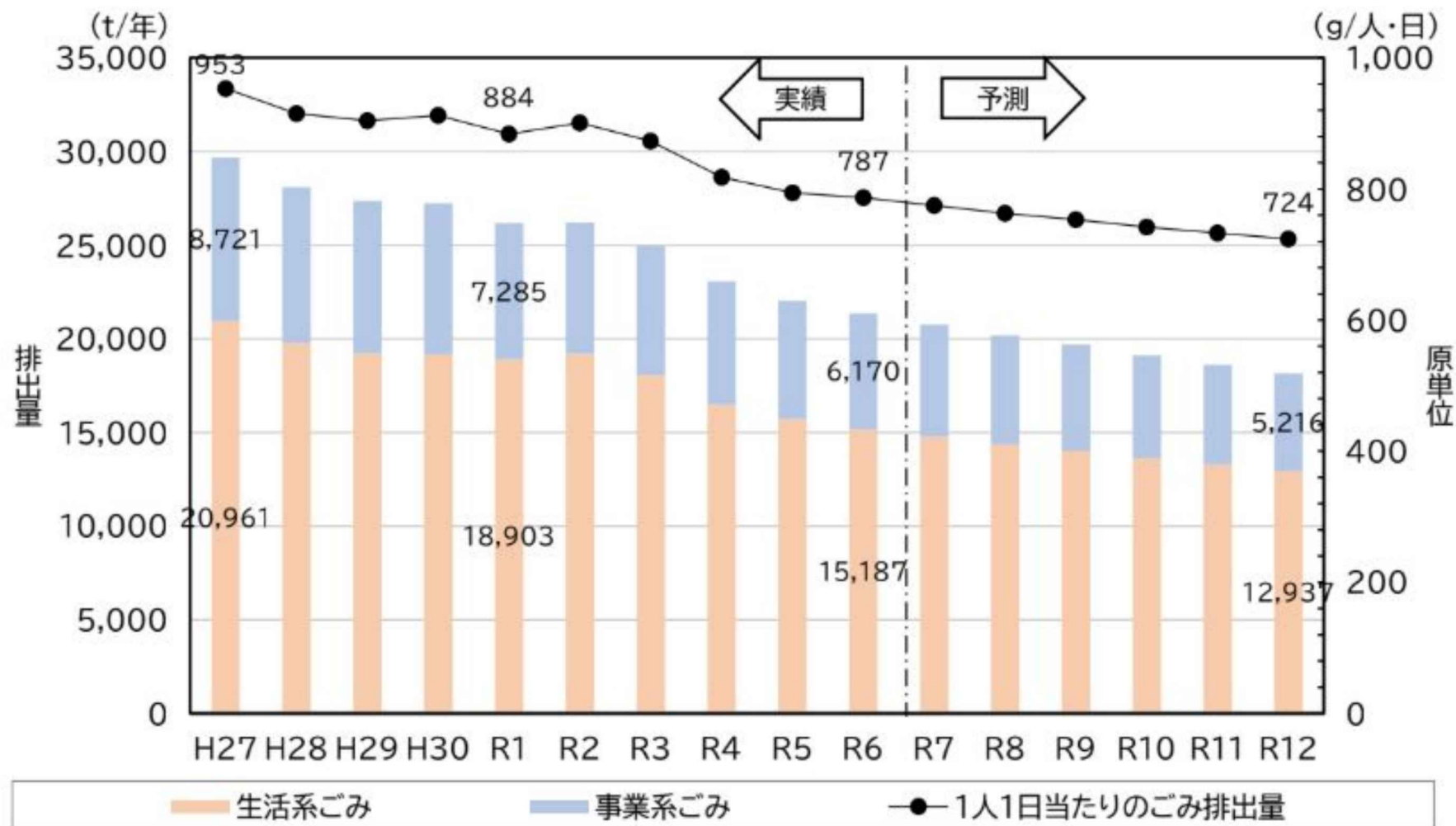
国、京都府の目標値

		循環型社会形成 推進基本計画	廃棄物処理法に 基づく基本方針	循環型社会形成 推進基本計画	本市 実績値
		(国の目標①)	(国の目標②)	(府の目標)	
目標年度		令和12年度	令和12年度	令和12年度	令和6年度
ごみ排出量	t/年		21,330 (令和4年度に対し 約9%削減)		21,378
1人1日当たりの ごみ排出量	g/人・日			760	787
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 (資源等除く)	g/人・日		478		510
出口側の循環利用率	%		約26		—
再生利用率	%			20.0	16.2
1人1日当たりの ごみ焼却量	g/人・日	約580	約580		628
一般廃棄物の焼却に より発生する 温室効果ガスの発生 量	t-CO ₂		5,173 (平成25年度比 40%削減)		—
最終処分量	t/年		3,296 (令和4年度に対し 約5%削減)	3,532 (令和元年度比 14%削減)	2,650

注)「出口側の循環利用率」とは、廃棄物等の発生量のうち、再使用・再生利用量が占める割合

目標値の設定について

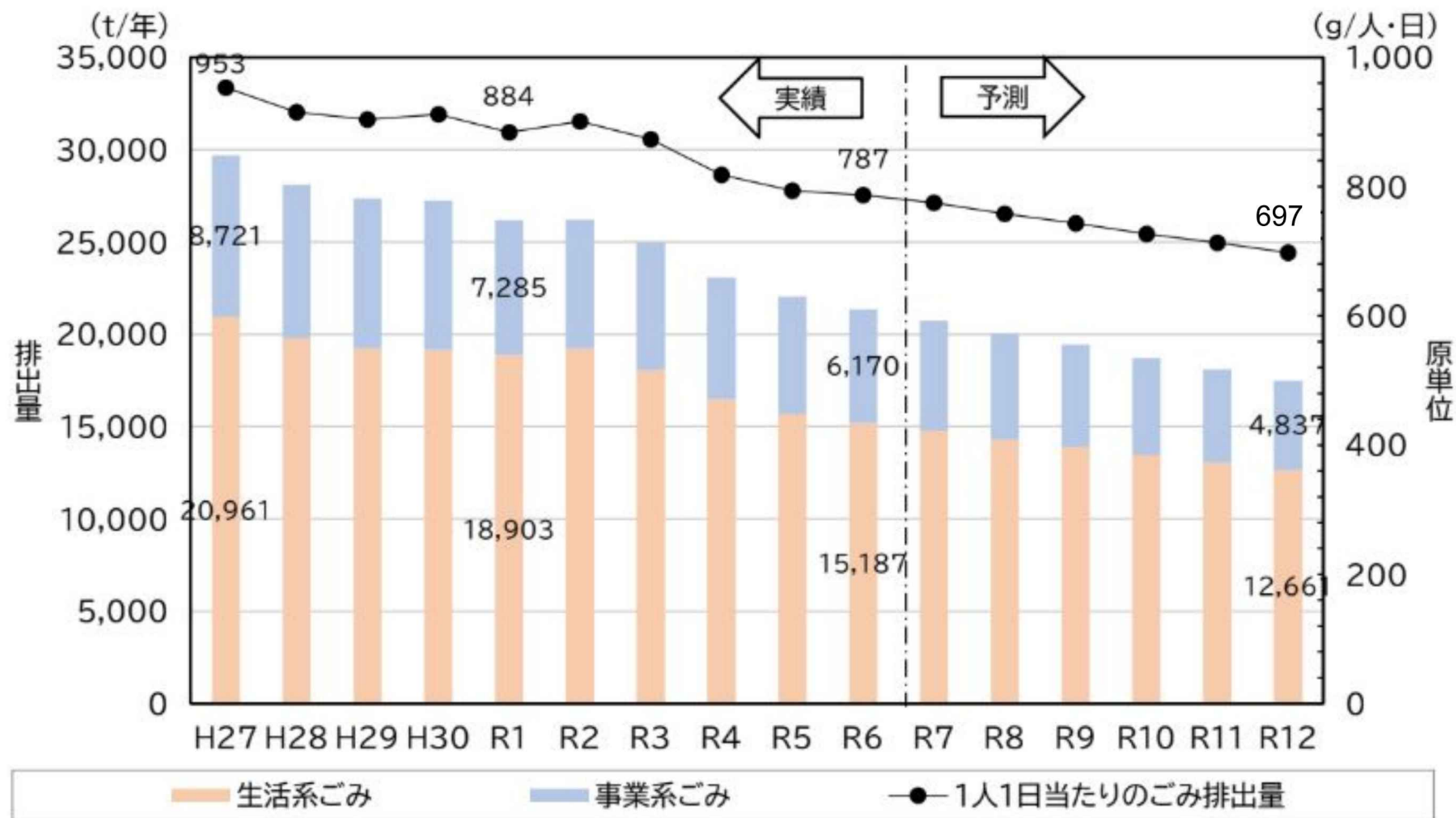
ごみ排出量予測【現状の施策維持の場合】 ⇒ 63g減量



目標値の設定について

ごみ排出量予測

【現状の施策維持＋更なる取組実施の場合】 ⇒ 90g減量



目標値の設定について

ごみ減量の内容

■現状の施策維持による減量 ▲62.9g

項目	減量	内容
可燃ごみ	▲27.4g	・将来人口の推計値を踏まえ、時系列分析によりごみ減量の量を予測 ・ごみ種別毎に、過去10年間(平成27年度～令和6年度)の実績を基に算出
資源化可能な紙	▲8.6g	
プラスチック容器包装類	+1.2g	
ペットボトル	▲1.0g	
埋立ごみ	▲4.6g	
その他の不燃ごみ	▲3.3g	
事業系ごみ	▲19.2g	

目標値の設定について

ごみ減量の内容

■更なる取組実施による減量 ▲27.6g

項目	減量	内容
食品ロス	▲4.6g	・本市は食品ロス量がやや多い状況 ・国の「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」の目標（2030年度を待たず2000年度比で半減）を踏まえ目標設定
調理くず	▲4.2g	・買い物時の留意（冷蔵庫チェック、量、賞味期限等） 調理・保存（適切な保存、使い切り、量調整等） 期限表示の認識（賞味期限、消費期限）などによる減量
プラスチック容器包装類	▲2.2g	・プラスチック資源循環戦略の目標（2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制）などを踏まえ目標設定 ・リデュースの徹底、事業者の容器包装減量化等により減量
事業系ごみ	▲16.6g	・事業系可燃ごみについて、生活系可燃ごみと同等の削減（7.4%）を目指すこととして目標設定